

ワンちゃん（イワヤ製）の修理法（音が出ない）

2016.02.08/2022.07.06 改訂

トミー・マック

1. 外 観

2. 特 徴

トコトコ前進、後ずさりしながら尻尾を振って鳴きます。最近では音声合成でしゃべったり、音に反応してお手をするなど高級化しています。

3. 故 障

落としたり、踏みつけられたりして、脚の骨折、また脚のメカの軸が折れることがあり、歩き方がおかしくなります。（別に修理法あります。）

また、鳴かなくなったりします。

4. 修 理

（1）分解前のチェック。

電池の消耗度、電池端子の錆を確認します。

（2）電源を入れずに頭を上下させ、鳴くかどうかの確認

- 音が鳴る場合は、機構の故障の可能性があります、「ワンちゃん（イワヤ製）の修理（脚など折れ）」を参照し、機構部を点検してください。
- 音が鳴らない場合は、音機構の故障の可能性があります、次の修理をします。

（3）ぬいぐるみの首根っこの糸切り

首根っこの後側の縫い目の糸を切ります。

（4）ぬいぐるみの頭部を上



ぬいぐるみの頭部を出来る限り上げ、首根っこが良く見えるようにします。

（5）鳴き袋の引き出し

写真ありません。



ワンちゃん（イワヤ製）の修理法（音が出ない）

（6）鳴き袋の袋が破れていた場合

- 袋の破れが小さい場合は、薄い腰のある封筒（100均で売っている）や薄いプラスチックを接着して袋を補修します。
その薄い腰のある封筒は、右写真です。

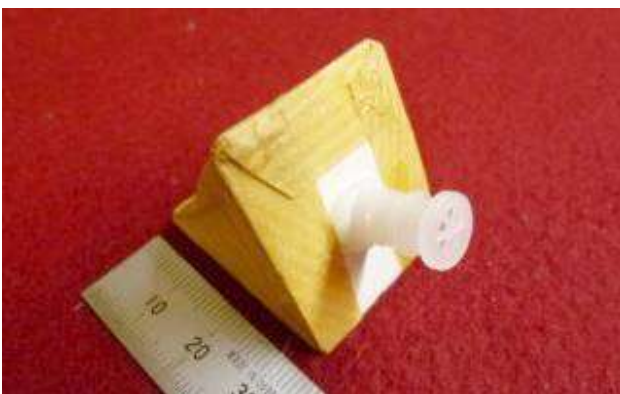


- 袋が大きく破れて、大きい穴の場合は、薄い腰のある封筒を使い、作り直します。



（7）鳴き笛が壊れた場合

鳴きおもちゃの笛を流用します。



正しく装着されたかは、頭を上下してなるかどうかを確認します。

（8）鳴き袋を戻す

鳴き袋を元の位置に戻します。



う

（9）首根っこの後側の縫い目を修復します

完 成

終わり